



概要

- マグロ養殖場で海洋状況を「見える化」し、最適な給餌方法を見出す取り組みを行っています。
- IoT技術を駆使し遠隔で取得した海洋データ(水温・塩分・溶存酸素)等の情報と給餌量や飼育方法の相関関係を分析し、最適な餌の量やタイミングを見つけ出し、効率的なマグロの養殖方法確立を目指しています。

利用シーン

- 給餌最適化・給餌管理を通して、食トレーサビリティによる食の安全性向上に貢献
- 熟練者の勘や経験値から算出していた給餌量を「見える化」による技の伝承

コラボレーションパートナー

双日ツナファーム鷹島株式会社様とは、2017年8月報道発表を行い効率的なマグロの養殖方法を見出し水産業の高度化実現を目指して両社で挑戦しています。

